

令和 4 年度第 3 回全国健康保険協会山口支部評議会議事概要

開催日時：令和 5 年 1 月 13 日（金）14：00～15：50

開催場所：防長苑「孔雀」

出席者：宇佐美評議員、齊藤評議員、水津評議員、鈴木評議員、中野評議員、
永見評議員、宮地評議員（五十音順）

議 題

1. 令和 5 年度都道府県単位保険料率について
2. 令和 5 年度支部事業計画(案)及び令和 5 年度支部保険者機能強化予算(案)
について

1. 令和 5 年度都道府県単位保険料率について
資料に基づき事務局から説明。

《被保険者代表》

支部毎の年齢構成や所得状況、インセンティブ制度の取組で保険料率の調整がなされていることは良くわかるが、3年度の医療費実績と予算時の保険料率の設定の差の戻りが大きく見える。保険料率を下げるためには、健康寿命をどう伸ばしていくのかを視点に事業計画を策定していけば、結果が表れていくのではと感じる。

《学識経験者代表》

平均保険料率がこの 20 年の間に 8%から10%に上昇していることから、健診を受診して健康でいること、医療機関のはしご受診など医療費を抑制してこれ以上平均保険料率を上昇させないこと、協会加入者(特に若年者)に対して SNS 等を使用した情報発信を行っていくことが大切である。

《事業主代表》

この30年間の推移を見ると、医療費、保険料率は上昇している一方で、医師の所得はかなり減少している。また、介護職の待遇は非常に冷遇されている。そのような中、医療費の抑制の議論だけで進めてよいのかと思う。税金を含めた国全体の課題として健康増進を図る仕組みを作っていく議論を行うことも重要ではないか。

《被保険者代表》

山口支部の保険料率が 10%を切ったのは、よいことだと思う。また、毎回保険料率の変更時期を議論しているが、個人的には、4月納付分からで確定してもよいのではと思う。

2. 令和 5 年度支部事業計画 (案) 及び令和 5 年度支部保険者機能強化予算 (案) について

資料に基づき事務局から説明。

《学識経験者代表》

GIS を活用した特定健診経年未受診者への受診勧奨事業で予算計上されているが、GIS を活用というところを含めて詳しく教えてもらいたい。

《事務局》

過去 3 年間特定健診を受診されていない対象者に対して直接的な勧奨ができていなかったのも、受診しやすい環境づくりを設けるために、GIS というソフトを活用して対象者が居住している地域の近辺の健診機関の情報などを提供して、対象者の受診につなげていければと考えています。

《被保険者代表》

重症化予防で未治療者に対する受診勧奨について、おそらく毎年同じ方が対象者と思うので、何か効果的な方法があればよいと思うし、企業内でも努力していかなければならないと感じた。また、重症化することで医療費が上がるので、重症化することのリスクが高いという情報提供をもっと行えればよいのかと思う。

《学識経験者代表》

来年度の新規事業の目玉と思うが、重点地区を定めたコラボヘルスの推進ではどういう取り組みをされるのか詳しく教えてもらいたい。

《事務局》

健康増進計画が令和 6 年度からスタートすることで令和 5 年度が計画策定となり、国の方針が出て県から各市町に示達されるという形になります。その中で企業グループが健康経営に積極的でホワイト 500 を取得しようという動きがあります。そういう状況を把握した中で行政関係者とお会いして一緒に連携して取り組む相談をしているところです。

具体的な取り組みはこれからですが、保険者と行政と経済界の各種団体と

の連携、特に企業との連携は不可欠と思っています。その中で各種の取り組みの共通部分を一緒に実施していきたいと考えています。

《事業主代表》

事業計画として計画されているものについて実施した結果、事業として良ければ継続すればよいし、良くないというのであれば翌年度別のことを考えればよいと思う。

以上